

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（12）子育てを応援する体制づくり

		【Plan】計画				【Do】実施						【Check】評価	【Action】改善	決算	担当課				
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※大字が評価を記載した課			
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度		
12	1	144	地域でつくる子育て応援事業	区の保健・医療・福祉・地域連携推進協議会やまちづくり協議会等と連携し、子育てに関するボランティア活動や地域特性を生かした子育て支援活動等を支援する。	①地域での子育て支援のための活動支援の実施	80回	子育て支援のための活動回数(回)	半年度目標	現状値と同水準	前年度同水準	前年度同水準	前年度同水準	前年度同水準	やや遅れ	・新型コロナウイルス感染症の影響により会議等の回数が減少しているが、各区の状況に応じて、子育て支援に関する会議や勉強会等を実施できているため、順調とした。	・今後も関係機関と連携し、地域の特性を踏まえた子育て支援に係る活動を支援する。	地域でつくる子育て応援事業	子ども家庭局・子育て支援課	
							【現状値】	実績	143回(R元年度)	80回									
							【目標】	達成率	現状維持	55.9%									
								計画目標	達成率	55.9%									
12	1	145	親子ふれあいルームの充実	子育て中の親と子が気軽に集い、相互に交流を図る場である親子ふれあいルームを運営し、施設の充実及び子育て相談、子育て関連情報の提供などの機能の充実を図る。また、市民センターをはじめ、子育て支援団体、育児サークル等と連携し、ネットワーク化を図るなど、地域における子育て支援に取り組む。	①親子ふれあいルームの運営 ②スタッフ研修会の実施 ③保育士による出張相談の実施	①延べ利用者数15,470人 ②新型コロナウイルス感染症の影響で中止 ③各区親子ふれあいルームあたり、年間15回実施	利用者数(乳幼児数)	半年度目標	現状値比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	やや遅れ	各区親子ふれあいルームにおけるPR、講座等の開催、電話やオンラインでの子育て相談等様々な取り組みを行った。利用者数の減少については、緊急事態宣言発令に伴う臨時休館や利用人数制限が要因となっている。利用者の減少は新型コロナウイルス感染症の影響であると考えられる。	・親子ふれあいルームの質の向上や利用促進を図るため、運営スタッフへの研修の実施やコロナ禍での運営方法等、更なる取り組みを検討していく。	親子ふれあいルーム運営委託 親子ふれあいルーム運営事業	子ども家庭局・子育て支援課	
							【現状値】	実績	31,889人(R元年度)	15,470人									
							【目標】	達成率	増加	48.5%									
								計画目標	達成率	48.5%									
12	1	146	赤ちゃんの駅登録事業	官民が協力して、乳幼児を持つ保護者が外出した際、授乳やおむつ替えができる施設を、「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを行う。	赤ちゃんの駅の登録について、協力依頼を行い、登録施設数の増加を図る。	赤ちゃんの駅の新規登録施設数の増加を進めた。	赤ちゃんの駅登録施設数(施設)	半年度目標	現状値比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	順調①	赤ちゃんの駅の登録施設数が、前年度比増となっていることから「順調①」とした。	引き続き、登録施設数の拡大を進める。	赤ちゃんの駅登録事業	子ども家庭局・総務企画課	
							【現状値】	実績	459施設(R元年度)	496施設									
							【目標】	達成率	増加	108.1%									
								計画目標	達成率	108.1%									

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（12） 子育てを応援する体制づくり

施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標	【Do】実施					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	決算	担当課	
								区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度
								目標	現状値	前年度比	前年度比	前年度比						前年度比
12	1	147	育児サークル・フリースペース活動への支援	乳幼児の親同士が交流を通じて、自主的な活動を行えるよう育児サークルを支援する。また、自由に参加・利用できるフリースペースの活動を支援するとともに、地域で子育てをしやすいシステムづくり、仲間づくりを支援する。	①子育てに関わる団体等への補助	①補助金交付団体：100件	子育てに関わる団体等への補助件数(件) 【現状値】 119件 (R元年度) 【目標】 増加	半年度	現状値	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	順調②	・100団体に補助金を交付し、育児サークル等の自主的活動や地域で行われる子育て支援活動を促進できた ・新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を自粛している団体が増加している。 ・評価については、補助件数の減少が新型コロナウイルス感染症の影響によるものであると考えられるため「順調②」と判断した。	・子育てに関わる団体の自主的活動をさらに活発化させるため、補助件数の増加等、支援内容について継続的に検討していく		子ども家庭局・子育て支援課
								実績	100件									
								達成率	84.0%									
								計画目標	84.0%									
								達成率										
12	2	148	子育てサポーターの育成	子育てサポーター養成講座を実施し、市民センターを拠点として活動する「子育てサポーター」を養成する。 養成された子育てサポーターは、子育てに関する保護者の悩みや不安の軽減を図るため、市民センターにおける「育児サークル」や「フリースペース」等での活動を支援する。 また、子育てサポーターフォローアップ研修、子育てサポーターリーダー養成研修を行う。 さらに、サポーター間の交流を深め、意見交換や情報交換を通して相互の連携・協力を図るため、交流会を実施する。	①子育てサポーター養成 ②子育てサポーター・子育てサポーターリーダーフォローアップ研修の開催 ②交流会開催	①子育てサポーター登録者数1,425人（うち新規登録者数0人） ②子育てサポーターリーダー登録者数196人	子育てサポーター登録者数 【現状値】 1,561人 (R元年度) 【目標】 増加	半年度	現状値	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	順調①	子育てサポーター登録者数は前年度より減少したが、単年度目標に対する達成率が90%を超えているため「順調」とした。	【課題】 ①コロナ禍での子育てサポーター養成講座のあり方 ②コロナ禍での子育てサポーターの活動のあり方 【改善】 ①対面参加型の講座だけではなく、リモートでも講座の受講ができるようオンライン開催等の工夫が必要。 ②コロナ禍での親子の悩みに寄り添うことができるよう、子育て支援のあり方を考える。	家庭・地域・学校パートナーシップ事業の一部	市民文化スポーツ局・生涯学習課
								実績	1,425人									
								達成率	91%									
								計画目標	99.7%									
								達成率										
12	2	149	主任児童委員による子育て支援	住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行う「児童委員（民生委員）」の中から選任された、児童福祉に関する事項を専門的に担当する「主任児童委員」が、区役所や子ども総合センター、学校、教育委員会等の関係機関、区域を担当する児童委員等と連携し、子育て支援に関する様々な活動を行う。 ○学校や児童委員と連携し、見守りが必要な家庭への訪問 ○支援が必要な子どもや家庭と関係機関との橋渡し ○生後4か月までの乳児家庭全戸訪問の協力など	①学校や児童委員と連携し、見守りが必要な家庭への訪問 ②支援が必要な子どもや家庭と関係機関との橋渡し ③生後4か月までの乳児家庭全戸訪問の協力など	①実施 ②実施 ③174件	市内主任児童委員配置数(人) 【現状値】 251人 (令和元年度) 【目標】 現状維持	半年度	現状値	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	順調①	市内主任児童委員配置数が現状値を維持しているため「順調①」とした。 ・今後も関係機関と連携し、地域の特性を踏まえた子育て支援に係る活動を支援する。	のびのび赤ちゃん訪問事業の一部	子ども家庭局・子育て支援課 保健福祉局・地域福祉推進課	
								実績	258人									
								達成率	102%									
								計画目標	102%									
								達成率										

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（12）子育てを応援する体制づくり

		【Plan】計画					【Do】実施					【Check】評価	【Action】改善	決算	担当課			
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※太字が評価を記載した課		
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度	
12	2	150	ほっと子育てふれあい事業	ほっと子育てふれあいセンターにおいて、地域で子育ての援助を行いたい人と子育ての援助を受けた人との、ボランティア組織をつくり、会員同士で子どもの預かりや送迎など子育てサービスを行う。	①ほっと子育てふれあい事業の実施 ②提供（両方）会員の確保 ③研修会の実施	①年間活動件数 4,625件 ②提供会員 599人 両方会員 184人 依頼会員 2,476人 ③研修会開催 15回	会員数（人）	半年度目標	現状値 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	順調①	・安全で質の高いサービスを提供できている。 ・仕事の都合で保育所等への送迎ができない方や、急な用事のために子どもを預ける必要がある方等を援助し、労働者の福祉の増進及び児童の福祉の向上に寄与している。			
							【現状値】	半年度実績	3,259人									
							【目標】	達成率	98%									
								計画目標	98%									
12	2	151	シニア世代による子ども・子育て支援活動の促進	シニア世代が、これまで培った経験・人脈等を活かし、子どもや子育てを支える人材として十分活躍してもらえるよう、市の子育て関連施設や子育て支援事業の中から、活躍が可能な場を集約し情報提供するとともに、子ども・子育て支援活動への積極的な参画を呼びかけていく。	市及び市が密接に関わる子育て支援活動の情報集約し、ちらしを作成・配布	子育て支援活動促進のちらしの作成・配布を行った。	情報提供の実施	半年度目標	実施	実施	実施	実施	実施	順調①	ちらしの作成・配布を行い、市民へのPR・啓発を行った。	引き続き、PR・啓発に努めていく。	子育てに関する情報提供の充実の一部	子ども家庭局・総務企画課
							【現状値】	半年度実績	実施									
							【目標】	達成率	100%									
								計画目標	100%									
12	2	152	シルバー人材センターによる高齢者活用子育て支援事業	子育て経験の豊富なシルバー人材センターの会員が、子育て家庭を支援するため、シルバー人材センターの業務の一つとして、子守、保育所の送迎、保育補助、産前産後の手伝い等を実施する。	①子守、保育園への送迎、保育補助、産前産後の手伝い、託児等「子育て支援サービス」を実施する。	①子守、保育補助、産前産後の手伝い等「子育て支援サービス」を行った。 受注件数 1,002件	子育て支援事業に係る受注件数	半年度目標	現状値 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	順調①	・コロナの影響と思われるが、家庭からの受注は減少した。 ・保育園へのPR及び発注者と会員ニーズの調整を行い、受注件数は昨年度実績を上回った。	・今後もシルバー人材センターの業務の一つとして、子守、保育所の送迎、保育補助、産前産後の手伝い、託児等を実施する。	シルバー人材センター運営補助	産業経済局・雇用政策課
							【現状値】	半年度実績	1,002件									
							【目標】	達成率	101.4%									
								計画目標	101.4%									

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（12）子育てを応援する体制づくり

		【Plan】計画				【Do】実施					【Check】評価	【Action】改善	決算	担当課				
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※太字が評価を記載した課		
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度	
12	2	153	経済界との連携による学校支援事業	経済界との連携により、企業もつ人材や経営のノウハウなどを生かし、出前授業や体験活動などに取り組む。 ○PTA活動活性化の支援 ○企業従業員の親学支援 など	①経済界との連携による学校支援事業実施。 ②小学校応援団による支援対象校を増やす。	①71件 ②129校（全校）	経済界との連携による学校支援事業実施数 【現状値】 235件（R元年度） 【目標】 増加	半年度目標 現状値 比増加	半年度実績 71件	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	遅れ	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校へ出向いての出前授業や体験活動を実施できる機会が減った。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校へ出向いての実施が難しかったことから、オンライン等で実施できないか検討を行う。	経済界との連携による学校支援事業	教育委員会・生徒指導・教育相談課
12	2	154	子育て支援員の養成・配置	北九州市社会福祉研修所で「子育て支援員養成研修」を実施する。専門性を活かし、きめ細かな子育て相談等に対応できるよう、保育士を「子育て支援員」として養成し、子育て相談や育児サークルの支援等、地域に根ざす保育所として、子育て家庭支援の中心的役割を担う。	①年間40名を受講対象。 （4年を1クールと設定。全保育所の保育士が参加するように計画）	①全保育所を対象とし、36名が受講した。	子育て支援員の配置保育所数 【現状値】 全保育所（R1年度） 【目標】 現状維持	半年度目標 現状値 同水準	半年度実績 全保育所	前年度同水準	前年度同水準	前年度同水準	前年度同水準	前年度同水準	順調①	受講条件を満たしている保育士が受講した。 子育て支援員を養成する研修を継続し、保育士としての専門性を生かしたきめ細かな子育て相談等を行っていく。	保育施設従事者研修事業の一部	子ども家庭局・保育課
12	3	155	児童手当	次代の社会を担う子どもの育ちを支援することを目的に、児童手当を支給する。なお、3歳以上小学校修了前の第3子以降には、加算して手当を支給する。	①児童手当の支給	①児童手当の支給 14,553,196,000円	児童手当の支給 【現状値】 14,846百万円 【目標】 法令等に基づく制度執行であるため、目標値なし	半年度目標 ー	半年度実績 14,553百万円	前年度同水準	前年度同水準	前年度同水準	前年度同水準	前年度同水準	順調①	法令等に基づき、確実に手当を支給した。 ・法定受託事務であり、法令等に基づき手当を支給する。	児童手当	子ども家庭局・子育て支援課

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（12）子育てを応援する体制づくり

施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	【Plan】計画		【Do】実施						【Check】評価		【Action】改善		決算	担当課
					R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性		
					①幼児教育無償化の円滑な実施	①幼児教育・保育の無償化の円滑な実施。			目標	実績	達成率	計画目標						
12	3	156	幼児教育の無償化	幼児教育にかかる費用を社会全体で負担することにより、子どもたちに質の高い幼児教育を受ける機会を保障する。 幼児教育の無償化を円滑に実施する。	①幼児教育無償化の円滑な実施	①幼児教育・保育の無償化の円滑な実施。	無償化の実施 【現状値】 幼児教育無償化の実施 【目標】 幼児教育無償化の継続実施	半年度 目標	幼児教育無償化の実施	幼児教育無償化の実施	幼児教育無償化の実施	幼児教育無償化の実施	幼児教育無償化の実施	順調①	問題なく幼児教育・保育の給付ができた。	国の動向を注視しながら、制度改革等に対応していく。	施設型給付（保育所） 施設型給付（幼稚園・認定こども園） 子育てのための施設等利用給付事業（幼稚園＜未移行＞） 幼児保育の無償化（幼稚園での預かり保育） ほか	子ども家庭局・幼稚園・こども園課、保育課
12	3	157	母子公費負担医療費助成	小児慢性特定疾病や未熟児・心身障害児等の重症化を抑制するとともに、保護者の医療費負担の軽減を図るため、医療費の公費負担等を行う。 また、小児慢性特定疾病について、専門員による自立支援を行う。	①小児慢性特定疾病医療費の給付 ②自立支援医療（育成医療）の給付 ③未熟児養育医療の給付	公費負担額（R2年度） ①241,843,512円 ②4,498,079円 ③66,861,902円	小児慢性特定疾病医療の給付人数 【現状値】 789人 （R元年度） 【目標】 国の要綱に基づく制度であり、目標値なし	半年度 目標	-	-	-	-	-	順調①	対象者を認定、法令等に基づき、医療費を給付。	法令等に基づき、確実に支給する。また円滑な認定手続きの実現のため、事務の効率化・電子化を進めていきたい。	母子公費負担医療費助成	子ども家庭局・子育て支援課
12	3	158	子ども医療費支給事業	子育てに関する経済的負担を軽減し子どもの健康の保持と健やかな育成を図るため、保険診療による医療費の自己負担額を助成する。	①医療費の支給	医療費 2,051,263,818円	医療費支給制度の維持 【現状値】 2,702百万円 （R元年度） 【目標】 法令等に基づく制度執行であるため、目標値なし	半年度 目標	-	-	-	-	-	順調①	制度を維持することで、経済面における子育ての悩みを軽減できていると考えられることから、施策の効果は高い。	子どもの健康の保持とすこやかな育成を図るため、現行制度を継続して実施する。	子ども医療費支給事業	子ども家庭局・子育て支援課

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（12）子育てを応援する体制づくり

		【Plan】計画		【Do】実施						【Check】評価	【Action】改善	決算	担当課			
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※太字が評価を記載した課
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度					
12	3	159	児童生徒・学生に対する就学の機会均等を図るための経済的支援	<p>経済的理由によって就学困難な児童生徒や学生に対して、学用品費等の支給や修学資金の貸付を行う。</p> <p>①就学援助費のうち新入学学用品費の入学前（3月）支給を令和元年度に引き続き実施する。</p> <p>②奨学金を引き続き利用しやすい制度として運営を行う。</p>	<p>①平成29年4月に入学の児童生徒分から希望する世帯には新入学学用品費の入学前（3月）支給を実施。令和3年4月入学者についても同様に入学前支給を3月に実施した。</p> <p>②平成30年度新規貸付分から、連帯保証人の年齢要件を撤廃した。</p>	就学援助件数(人)	半 年 度 目 標	—	—	—	—	—	<p>順調①</p> <p>・就学援助においては、平成29年4月入学の児童生徒の新入学学用品費から入学前（3月）支給を実施しているが、その支給単価も平成28年4月入学と比較して約2.5倍まで増額しており、経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助を必要な時期に行うことができた。</p> <p>・奨学金においては、平成30年度貸付分から連帯保証人の年齢要件を撤廃し、より借り易い制度とすることで、経済的理由により就学困難な学生に対して、進路の多様化に応じた必要な貸付けを行うことができた。</p> <p>・また、いずれも制度の周知を図るとともに、適切な制度の運営を行うことができた。</p> <p>・以上のことから「順調」とした。</p>	<p>・就学援助制度及び本市奨学金についての周知は概ね図られている。</p> <p>・本市における就学援助制度及び奨学金貸付制度については、令和3年度以降についても継続してこれらの制度の内容の一層の充実及び周知徹底を図りつつ、本事業を継続して実施する。</p>	<p>就学援助（小・中） 奨学金貸付事業</p>	<p>教育委員会・学事課</p>
						実績	12,297人					達成率				
12	4	160	子ども・家庭相談コーナー運営事業	<p>区役所の子ども・家庭相談コーナーにおいて、子どもと家庭に関するあらゆる相談にワンストップで応じ、各種支援制度を適用したり、関係機関等へつなぐ等それぞれの相談内容に応じた支援を行う。支援にあたっては、関係機関等から情報を収集するとともに緊密に連携し、包括的・継続的な支援を調整、実施する。</p> <p>※児童福祉法に基づき「子ども家庭総合支援拠点」の設置に努める。</p>	<p>①子ども・家庭相談コーナーの運営</p> <p>①相談件数 77,956件</p>	相談件数(回)	半 年 度 目 標	—	—	—	—	—	<p>順調①</p> <p>・子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、関係機関と連携し、それぞれの内容に応じた支援・対応を行い、相談者の不安や負担感の軽減を図れた。</p> <p>・子どもと家庭に関する相談は多岐にわたり、またその内容は複雑化していることから、ニーズに応じた研修を行い、相談員の資質の向上を図るなど、効率的な運営を図る。</p>	<p>・事業の実施にあたり、計画的な研修を通じ相談員の資質向上を図るなど効率的な運営を行う。</p> <p>・子どもに関する相談は多岐にわたり、またその内容は複雑化していることから、ニーズに応じた研修を行い、相談員の資質の向上を図るなど、効率的な運営を図る。</p>	<p>子ども・家庭相談コーナー運営事業</p>	<p>子ども家庭局・子育て支援課</p>
						実績	81,681回	77,956回				達成率				

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（12）子育てを応援する体制づくり

		【Plan】計画					【Do】実施					【Check】評価	【Action】改善	決算	担当課			
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※太字が評価を記載した課		
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度	
12	4	161	子育て支援総合コーディネーター事業	「子育て支援サロン“びあちえーれ”」に子育て支援総合コーディネーターを配置し、面接、電話やメールによる子育てに関する相談の対応を行い、必要な関係機関との連携、調整等の支援を行う。また、育児講座を開催するなど、子育て支援の充実を図る。	①子育てに関する相談事業 ②育児講座の開催	①電話相談、面接相談、メール相談を行い子育てに関する相談をうけ、必要な場合は他の機関との調整を行った。 ②ミニ育児講座を26回開催	相談件数	半年度目標	現状値	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	大変 順調	新型コロナウイルス感染症の影響でメール相談が多かった。縮小しながら、育児講座を開催した。	子育てに関することに加えて保護者自身の不安により内容の重い相談が増えている。安心して子育てできるよう相談事業を継続する。	子育て支援総合コーディネーター事業	子ども家庭局・保育課
							【現状値】	実績	1,507件									
							【目標】	達成率	146%									
								計画目標	146%									
12	5	162	子育てに関する情報発信の充実・強化	子育て中の人や、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるよう、ホームページやフェイスブック、情報誌の内容や、情報提供方法の充実を図り、必要とされる子育てに関する情報が、市民に届くよう取り組む。併せて、効果的な情報発信のあり方について、検討する。	①情報誌「こそだて情報」の作成 ②ホームページ「子育てマップ北九州」での情報提供	①「こそだて情報」をリニューアルし発行した。 ②ホームページ「子育てマップ北九州」での情報提供を行った。	「こそだて情報」による情報提供の実施	半年度目標	発行	発行	発行	発行	発行	順調①	情報誌「こそだて情報」は、毎年度、内容を見直しながら発行している。HP「子育てマップ北九州」は、より充実した情報提供を行えるよう、令和2年度リニューアルを行った。 (年間アクセス件数：144,805件)	より多くの方々に活用していただけるよう、「こそだて情報」、「子育てマップ北九州」のさらなる内容充実に努める。	子育てに関する情報提供の充実	子ども家庭局・総務企画課
							【現状値】	実績	発行									
							【目標】	達成率	100%									
								計画目標	100%									

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（12）子育てを応援する体制づくり

		【Plan】計画					【Do】実施					【Check】評価		【Action】改善		決算	担当課	
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	担当課		
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度	
12	5	163	市政だより、市政テレビ、ホームページ、SNS等による子育てに関する情報提供	市政だより、市政テレビ、ホームページ、SNS等を活用し、より多くの市民に効果的に子育てに関する情報を提供する。	①市政だより「特集」として掲載する。	特集：3回掲載	市政だより「特集」掲載回数(回)	【現状値】	2回					順調①	【市政だより】計画を上回る回数を達成することができた。 【市政テレビ・SNS】令和2年度の市政テレビは市政情報をテーマとしていなかったため、子育て関連の回数が減少。また、この番組告知及びYouTube公開をSNSで行っている関係で、投稿数もテレビ放送回数×2回分減った。いずれも想定内である。	【市政だより】今後も特集やトピックスなどで積極的に掲載していきたい。 【市政テレビ・SNS】R3年度の市政テレビは、市政情報を取り扱うため、前年度よりは放送回数の増加が見込まれる。 ・SNS投稿は、市政テレビを除いた部分での投稿を、これまでと同様に行う。	市政だより発行事務、市政ラジオ等による広報、市政テレビ等による広報、ホームページを活用した情報発信事業、広報発信強化推進事業の一部	広報室・広報課
							【現状値】	3回										
							【目標】	150%										
							達成率	150%										
					②市政テレビでの放送及び市公式SNSでの情報発信	○市政テレビでの放送(番組本編およびお知らせ枠等)・2回 ○市公式SNSでの情報発信(Twitter、Facebook、LINE)・27回	放送・投稿回数(回)	【現状値】	48回	29回								
							【目標】	現状維持										
							達成率	60%										
							計画目標	60%										
12	5	164	市内外に向けた「子育てしやすいまち北九州」のPR	他部局とも連携しながら、WEB広告やタウン誌、イベント等さまざまな媒体・場を活用し、市内外に向け、「子育てしやすいまち北九州」をPRする。	①市外・市内向けWEB広告の配信	①市外・市内向けWEB広告の配信	「子育てしやすいまち」と感じる市民(子育て世代)の割合(%)	【現状値】	88.6%					順調①	「子育てしやすいまち」と感じる市民(子育て世代)の割合は、昨年度アンケート結果より0.6ポイント上昇したため、順調①と判断した。	「子育てしやすいまち」と感じていたける市民割合の向上を目指し、引き続き市内外にPRを行っていく。	子育てに関する情報提供の充実の一部	子ども家庭局・総務企画課
							【現状値】	89.2%										
							【目標】	90%以上										
							達成率	100.7%										
					②HP「子育てマップ北九州」に子育て支援の取組を取材形式で掲載	②HP「子育てマップ北九州」のコラム「子育て知っ得！」に掲載	現状値比	増加	前年度比	増加	前年度比	増加	前年度比	増加	90%以上			
					③成人式で配布するパンフレットへの広告掲載	③成人式で配布するパンフレットへの広告掲載	【現状値】	99.1%										

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（12）子育てを応援する体制づくり

			【Plan】計画	【Do】実施						【Check】評価	【Action】改善	決算	担当課				
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※大字が評価を記載した課	
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度
12	5	165	幼稚園・保育所等情報の積極的な提供	市民に愛され親しまれる幼稚園、保育所等となるため、また、市民が幼稚園、保育所等を選択する際の一助となるよう、ホームページの充実や、ガイドブックの作成などにより、積極的に施設の情報提供に取り組む。 さらに、タイムリーな情報提供を充実させるため、幼稚園、保育所等に通う子どもや保護者向けの情報を、施設を通して提供する。	①毎月、市内各保育所の入所状況を市ホームページで公開し、入所希望者等への情報提供の充実を図る ②冊子「こそだて情報」の配布	①ホームページの更新回数 12回 ②冊子「こそだて情報」を全保育所・幼稚園経由で保護者に配布	HP更新回数(回)	半年度目標	12回	12回	12回	12回	12回	順調① ・計画どおり毎月（年12回）、市内各保育所の入所状況を市ホームページで公開し、入所希望者等への情報提供の充実を図った。 ・冊子「こそだて情報」を全保育所・幼稚園経由で保護者に配布し、情報提供に努めた。		(予算なし)	子ども家庭局・総務企画課、保育課、幼稚園・こども園課
							【現状値】	半年度実績	12回								
							【目標】	達成率	100%								
								計画目標	100%								
12	5	166	保育サービスコンシェルジュ事業	保育を希望する保護者等の相談に応じ、個別のニーズを把握したうえで、認可保育所のほか、一時保育や幼稚園預かり保育などの多様なサービスについての情報提供を行うため、各区役所及びウーマンワークカフェ北九州に「保育サービスコンシェルジュ」を配置する。	①保育に関する情報提供の実施	市ホームページやフェイスブックを活用したPRを行った。	相談対応件数	半年度目標	現状値 同水準	前年度 同水準	前年度 同水準	前年度 同水準	前年度 同水準	順調① コロナ禍において、窓口での相談件数が減少しているが、電話での相談も受け付けており減少率も1割程度に抑えられていることから順調と判断した。	各区役所及びウーマンワークカフェ北九州において継続して事業を進めていく。	保育サービスコンシェルジュ事業	子ども家庭局・保育課
							【現状値】	半年度実績	26,137件								
							【目標】	達成率	90%								
								計画目標	90%								
12	5	167	保育サービスに関する情報提供の充実	市ホームページにて、さまざまな保育サービスや各保育所の概況および各月の入所児童数等を公開することで、保育所入所希望者への情報提供の充実を図る。	①毎月、市内各保育所の入所状況を市ホームページで公開し、入所希望者等への情報提供の充実を図る。	①当月1日時点の入所人数を市ホームページにて公開。	ホームページの更新回数	半年度目標	現状値 同水準	前年度 同水準	前年度 同水準	前年度 同水準	前年度 同水準	順調① 目標回数であった毎月更新（12回）を達成し、入所情報の更新を行うことができた。	各保育所の実績を集計した日に、市ホームページへの掲載となるが、毎月の更新をする中で、できるだけタイムリーな情報がホームページに上がるよう、更新時期を早めて情報提供を行う。	(予算なし)	子ども家庭局・保育課
							【現状値】	半年度実績	12回								
							【目標】	達成率	100%								
								計画目標	100%								

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（12）子育てを応援する体制づくり

		【Plan】計画		【Do】実施						【Check】評価		【Action】改善		決算	担当課			
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※大字が評価を記載した課		
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度	
12	6	168	日本語と子育て教室	外国人市民の子育ての悩みなどの負担軽減を図るため、外国人市民を対象とした日本語教室を子育て支援施設で開催し、日本語学習支援や生活情報の提供を行う。	①ママとパパのためにほんご教室の開催 ②にほんごひろばの開催	①ママとパパのためにほんご教室の開催 143回開催 622人参加 ②にほんごひろばの開催 144回開催 253人参加	教室開催回数(回)	半年度 目標	現状値 同水準	前年度比 同水準	前年度比 同水準	前年度比 同水準	前年度比 同水準	大変 順調	外国人市民の子育て支援事業は、市の補助金を活用し、(公財)北九州国際交流協会が実施している。 同団体を持つ多文化共生関係のノウハウや、関係団体との強いネットワーク、日本語コーディネーターの高い専門性を活かして効率的に事業を実施した。 ・コロナ感染拡大防止の観点から、ZOOMによる全面オンライン授業やハイブリッド形式の授業を開催し、学習者から高い評価を得た。 ・教室では生活に関する日本語はもちろん、ビジネス用語や学校で使用する日本語を学習することで、学習者が就業したり、学齢期の子どもを持つ学習者の活動の幅が広がり、好評を得た。また、ロコミや協会HPなどを通じての問い合わせも増えている。	新規学習者獲得のために引き続き充実した内容と情報発信が必要である。 ・R3年度も引き続き事業を実施する中で、過去の実績をもとに参加者のニーズや事業成果を分析し、事業の将来展望を検討していく。 ・教室運営に関しては、コロナウイルス感染拡大防止に向けた新しい行動様式を取り入れる。 ・感染予防対策の一環として、また学習者の利便性も考慮して、ZOOM等を用いたオンライン教室も開催していく。	北九州国際交流協会補助金の一部	企画調整局・国際政策課
							【現状値】	半年度 実績	287回									
							【目標】	達成率	179.3%									
							現状維持	計画目標 達成率	179.3%									
12	6	169	外国人市民の妊産婦や保護者への支援	母子健康手帳交付の際に、多言語化した「母子健康手帳や妊産婦手帳の使い方」や、「早わかり子育て便利帳」のリーフレットを配布する。また、妊娠中から出産後まで必要に応じて、保健師が家庭訪問等を行い、継続した支援を行う。 学校や幼稚園等との日本語によるコミュニケーションが難しい場合は、(公財)北九州国際交流協会による行政通訳派遣の活用を図る。 また、保護者に配布する書類については、やさしい日本語を使うなど配慮する。	外国語版母子健康手帳の配布	配布	外国語版母子健康手帳の配布	半年度 目標	配布	配布	配布	配布	配布	順調①	外国人への母子健康手帳交付を効果的に行うため、国際交流協会で作成した母子健康手帳の使い方の要点を外国語で記載したリーフレットを活用した。	外国人も安心して妊娠・出産ができる環境づくりのため、引き続き、日本語以外の資料も活用し対応していく。	すくすく子育て支援事業の一部	子ども家庭局・子育て支援課 企画調整局・国際政策課
							【現状値】	半年度 実績	配布									
							【目標】	達成率	100%									
							配布	計画目標 達成率	100%									
12	6	170	外国人児童生徒の受入体制の整備	教育委員会や帰国・外国人児童生徒教育センター校による北九州市帰国・外国人児童生徒教育推進協議会を中心に、帰国・外国人児童生徒の受け入れ体制を整備する。また、帰国・外国人児童生徒教育連絡協議会（対象は日本語指導対象児童生徒の学級担任）を実施し、帰国・外国人児童生徒の受け入れについて周知・徹底を図るとともに、教員の意識の高揚と資質の向上に努める。	①帰国・外国人児童生徒教育連絡協議会の実施 ②帰国・外国人児童生徒教育センター校会議の実施	①0回 ②2回	会議・研修開催回数(回)	半年度 目標	4回	4回	4回	4回	4回	やや 遅れ	①帰国・外国人児童生徒教育連絡協議会は6月実施の計画であったが、コロナ禍で実施できなかった。 ②帰国・外国人児童生徒教育センター校会議は4月・10月・1月の3回を予定していたが、4月はコロナ禍で実施できなかった。10月・1月はオンライン会議で実施した。	①について、令和3年度は6月にオンライン会議で実施する予定である。 ②について、令和3年度4月に集合型で第1回会議を行った。以降の会議も状況に応じて集合型、またはオンライン会議を実施する予定である。 これらの会議以外にも、教育委員会や北九州市帰国・外国人児童生徒教育推進協議会を中心に、帰国・外国人児童生徒の受け入れ体制を随時整備する。	外国語教育推進事業	教育委員会・学校経営・教育指導課
							【現状値】	半年度 実績	2回									
							【目標】	達成率	50%									
							現状維持	計画目標 達成率	50%									

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（12）子育てを応援する体制づくり

			【Plan】計画	【Do】実施						【Check】評価	【Action】改善	決算	担当課				
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※太字が評価を記載した課	
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度
12	6	171	外国人児童生徒への学習支援体制の充実	日本語指導協力員および帰国・外国人児童生徒教育センター校に配置されている専任教員が、各小中学校などを訪問して、帰国・外国人児童生徒へ個別に行う初期の日本語指導を充実させる。また、帰国・外国人児童生徒教育センター校においても専任教員を中心として、日本語指導などの学習支援体制の充実を図る。さらに、（公財）北九州国際交流協会が実施するにほんごひろば事業を通じて、児童の学習支援体制の充実を図る。	①JSLカリキュラム開発に係る研修の実施 ②北九州市インターナショナルビレッジの実施	①6回 ②0回	研修開催回数(回)	半年度	6回	6回	6回	6回	6回	順調①	①JSLカリキュラム開発に係る研修は5回実施の予定であったが、6名の専任教員がそれぞれ1回ずつ授業研修を行い、計6回実施することができた。一方で②北九州市インターナショナルビレッジはコロナ禍のため実施することができなかった。		
							【現状値】	半年度	6回								
							【目標】	達成率	100%								
							計画目標	達成率	100%								